

ぶらネットこまき

(古牧地区住民自治協議会広報紙)



第49号

古牧だより通算143号



蒔いた種が実になる年

みんなで蒔いた種に

今年は立派な実を結ばせましょう



古牧地区住民自治協議会 会長 湯沢 角雄



新年明けましておめでとうございます。

古牧地区の皆様方にはご家族おそろいで、すがすがしい新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

日頃、住民自治協議会・区政の推進に深いご理解とご協力を賜り、厚く感謝申し上げます。

さて、昨年7月20日の豪雨により、古牧地区の広い範囲において、河川の氾濫などによる被害が発生しました。昭和40年代以降、古牧地区が田園地帯から住宅地化・市街化に進むにつれて、抜本的な排水・水害対策は、地区住民の長年にわたる懸案となっておりますが、いまだ抜本的な整備には程遠いなかで、住民の不安が現実のものとなってしまいました。

古牧地区の抜本的な水害対策の早急な実施については、昨年11月に鷺沢市長が出席して開催された、元気なまちづくり市民会議において強く要請しましたが、引き続き、その実現を求めてまいります。

また、この豪雨災害を教訓として、古牧地区災害対策本部の設置と各区自主防災組織・関係機関等との間で、情報を正確かつ迅速に交換するための情報伝達訓練を初めて実施しました。

今年も、各区における自主防災訓練の内容

の充実と情報伝達訓練の実施など、万一災害が発生した場合に備え体制の整備を進めます。

一方、古牧地区は住宅地化が進むなかで、乳幼児のいる世帯が増え、核家族化やアパート・マンション住まいで地域との交流が少なく、孤立しがちな若い子育て世代が目立ってきています。子育て中の方や地域の宝である子どもたちを、地域みんなで支えあう「子育てにやさしい古牧」を目指して取り組んでおります。

昨年までに、全区（JR宿舎区は西和田区と共同実施）において、公会堂・公民館等を利用して「子育て広場」を開設していただき、親子で一緒に遊びながら交流の輪を広げ、楽しく子育てできるよう応援しております。

また、子どもからお年寄まで参加するグラウンドゴルフ大会や、マレットゴルフ大会を開催するなど、世代交流の輪を広げ、地域の絆を深めることにも力を入れております。

今年は、子育て広場の運営モデルの作成等、子育て支援の一層の充実に取り組んでまいります。

さて、今年は「巳年」、「巳年」は蒔いた種が実になる年といわれています。

古牧地区住民自治協議会が本格的に発足してから今年で4年目を迎えます。

今まで大勢の方々に蒔いていただいた種が、今年は立派な実を結びますように、皆様方の一層のご支援ご協力をお願いいたします。

＝古牧地区自主防災会＝

河川氾濫による水害を想定して 災害対策本部設置と情報伝達の訓練を実施

古牧地区住民自治協議会は、12月8日午前7時40分から10時30分まで、大雨により地区内の河川が氾濫し、被害が発生したことを想定して、住自協の災害対策本部設置及び、住自協災害対策本部と各区災害対策本部間の情報伝達訓練が、次のように行われました。

訓練概要

【am 7 : 30】

古牧地区に水害発生

(床上床下浸水・避難者・負傷者等の被害想定)

【am 7 : 40】

住自協災害対策本部設置完了

○対策本部場所

古牧支所・古牧公民館

招集した構成員

○第1次参集者

会長・副会長・防災指導員代表・事務局・支所（支援職員）

○第2次参集者

各部長・消防分団長・民児協会長・赤十字奉仕団委員長



【am 8 : 10】

住自協災害対策本部から各区へ、災害対策本部の設置を連絡するとともに、各区災害対策本部（公民館・公会堂・集会所等）の設置依頼を行う。

【am 8 : 30】

各区から、各区災害対策本部の設置状況が住自協災害対策本部長に伝達され、各区災害対策本部の設置完了が確認される。

【am 9 : 00】

- ・各区災害対策本部から区の被害状況が、住自協災害対策本部長に逐次伝達されてくる。
- ・住自協災害対策本部長は、各区から伝達された被害状況を分析し、消防団・民生児童

委員協議会・赤十字奉仕団の各責任者に対し、それぞれ関係する団体の被害に対処するよう要請を行う。これに対し関係する団体は、土のう対策・安否確認・炊き出し等の状況把握を行い、その結果を住自協災害対策本部長に伝達される。

【am 9 : 50】

住自協災害対策本部から各区災害対策本部へ、住自協災害対策本部の解散を伝達する。

【am 10 : 00】

本日の災害訓練に対する反省検討会を行う。（本部要員・各区長・防災指導員・支所職員）

《災害対策本部》

本日の訓練による発生した被害を集約し、被害項目別及び件数別に細部にわたり報告された。



《災害対策本部長》

訓練にあたり、訓練参加関係者と細部な打ち合せを行わずに訓練を実施したが、予想よりかなり順調に進行が図れた。今後は今回の訓練を検証して、問題点等を改善し防災に万全な体制を期したい。



《災害対策副本部長》

住自協災害対策本部の情報伝達電話の機能が一部悪く、情報伝達に戸惑った。今後は固定電話と携帯電話を効率よく使い分けできるように考えたい。



大きい図表等を使用して欲しい。

情報伝達の内容に若干の相違が見受けられたので、確実な伝達ができるように考えたい。

【am 10 : 30】

防災訓練終了、解散

クイズや歌 楽しかったクリスマス

一人暮らしの高齢者の集い開催

12月18日、古牧公民館学習室において、ボランティア古牧さんのご協力をいただき、高齢者の集い（クリスマス会）を、総勢30名の参加者で開催しました。



クイズや歌、飛び入りに舞踊もあり、楽しい2時間を過ごし、別れ

を惜しむような雰囲気の中閉会しました。

(福祉健康部)



わたしの食べ方のくせを知ろう！見直そう！

本年度の健康食講習会は、「古牧地区は糖尿病予備軍の人の割合が高くなっています」とのご指摘で、8・10・12月古牧公民館で午後1時30分より2時間、「血糖値を上げない食べ方」を栄養士さんより学びました。

健康への関心の高さから、延べ100余名の参加がありました。

栄養士さんより、日ごろ食べている食事を一人ひとり、こと細かく食品分析のチェックをしていただきました。参加者は日ごろの食事で摂り過ぎていたり、不足している食品が一目でわかりビックリしました。

そして、講話ではインスリンの事、糖との関係、病気との関係などを学び、また食事の生活習慣を変えるだけで、体が悲鳴をあげる前に改善でき、病気予防につながる事を知りました。

いつでもどこでも、何でも食べられる現在、



欲求ではなく栄養バランスの食事を考える、とても良い講習会となりました。

(保健補導員会)

年末夜間パトロールを実施

安全部では、年末地域安全運動を12月1日～31日までを実施期間として、各地区において自主防犯活動を推進しました。

自主防災意識の高揚をはかり、「安全で住みよい地域づくり」を目的とし重点活動として、年末に発生しやすい乗り物盗、性犯罪および少年非行の防止など、子どもを守る防犯活動や、夜間の防犯パトロールを実施しました。

特に夜間パトロールにおいては、自動車、自転車、バイクの盗難防止や、防犯灯の球切れ危険箇所の確認など、夜間の地域防犯に重点をおいて実施されました。

こうした自主パトロールが、犯罪の抑止につながると思います。

(安全部)



夕暮れ時は危険!! 年末交通安全運動実施

12月11日～31日まで、年末の交通安全運動が実施されました。

昨年は、古牧地区内で2件の死亡事故が発生し、物損事故も増加傾向にあります。

冬季は日没が早い時期です。夕暮れ時や夜間は、人や物が見えにくくなる危険な時間帯です。

通り慣れた道でも油断せず、ドライバーも歩行者も、それぞれが交通事故防止を心がけることが大事なことです。

運転手の皆さんは、早めのライト点灯で歩行者、自転車を早期発見、横断歩道付近では最徐行、一時停止で事故防止。

歩行者の皆さんは、明るい服装や夜光反射材を活用して、通行車両の運転手さんからよく見えるようにし、必ず横断歩道を利用し、車が止まってから横断しましょう。

正しく交通ルールを守り、事故防止につとめましょう。

(安全部)

ちょっと拝見
パートⅡ
第9回

西尾張部

北原のけんか地蔵尊

西尾張部区長代理 山田 修一

北原地蔵尊は、西尾張部と北尾張部（朝陽地区）境の北八幡川に近接した所に建っています。

お地蔵さんは、約300年前、八幡川へ流れてきたものを、この地の人達が引き上げて祀ったと伝えられています。

そして、青木のお地蔵さんと北原のお地蔵さんが喧嘩をして、北原のお地蔵さんは背中を切りつけられたので、右肩にその痕が印されたと言われています。

現在は毎年7月23日の夕方、地蔵尊祭りが大勢の皆さんが参加して行われます。



地蔵尊祭りは、東和田の観音庵・庵主にお経とお話をしていただき、全員で歌を歌ってからお詣りをします。そのころには薄暗くなっているので、遠くから眺めていると、何か素朴で昔懐かしい情景が思いおこされます。

また、参加者は『御供（お菓子）』がいただけるので、お地蔵さんのご利益があると思います。

なお、大正時代は7月23日の夜、地蔵盆として吉田の庵主が来てお経をあげた後、お説教がありました。そして、当番の家を『宿』と呼び、4人の世話人の家を順番に宿としま



した。また、24日の朝は地蔵講として、女性だけが集まってお経をあげたと言われてい

ます。当時の地蔵講は北原集落の大部分の人が参加し、約30戸ほどだったそうです。

なお、お地蔵さんのご利益は「知恵が授かる」ことと、「子どもの夜泣きが止まる」ことだそうです。

しゃばえんひつ



ハヤリ神と祀り棄て

民俗学者の宮田登さんは、「祀り棄て」について、「ハヤリ神は急速に人気を集める信者が群参するが、ある期間を過ぎるとパツタリと参拝人が途絶え、そのまま社祠が放置されてしまう状況をさす」と説明しています。現代でも、人々は霊験があらたかであったり、御利益が実感できるうちは熱心に参拝するが、それが実感されなくなると棄ててしまう現象は、絶えず繰り返されています。

芸能界・スポーツ界・政治の世界でも一時的に盛り上がり、やがて忘れられてしまう事例には事欠かないわけです。時々のハヤリ言葉も同じです。本年度の「ワイルドだろお」も一発芸に終わるのか？今は国民栄誉賞なるものはありますが、国民的に共有され楽しめる興行（みせもの）はほとんどなくなりました。「世直し」という言葉も時代の変わり目にはよく登場し、都合よく使われます。誰にとっても「世直し」か、中味が問題です。日々の暮らしを慎ましく過ごしている私たちを、単に驚かすだけの言説を弄しているものだけは見極めて、いたずらに御輿を担ぐことだけは避けたいと思います。（丸山 正一）

古牧地区の世帯数と人口

24年12月1日現在

10,651 世帯

26,218 人

(男 12,926人 女 13,292人)

- 発行所 古牧地区住民自治協議会
- 発行者 湯澤 角雄
- 編集 ぶらネットこまき編集委員会
- 印刷 ㈱小池印刷